

## 第63回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

第3位決定戦		石巻市民球場		1 時間 40 分				打安点盗犠四三残失併	
柴田	0 0 0	0 0 0	0	0	0	0	0	【柴】	23 3 0 1 1 1 4 4 3 0
仙台育英	3 1 4	0 0 0	x				8	【仙】	31 13 8 2 2 4 1 11 0 0
(球) 武田 (一) 大槻 (二) 高橋正 (三) 高橋勝				( 7回コールド )				▽本塁打 齋田(仙)	
【柴】	岩佐・保志	—	伊丹					▽三塁打 なし	
【仙】	鈴木・長谷川	—	尾崎					▽二塁打 なし (柴) 齋田 (仙)	
▽暴投 保志1(柴)		▽捕逸 なし							

## 【評】

東北大会第三代表をかけた育英と柴田の一戦は、投打に勝った育英が勝利した。育英は、初回1番西巻の左前安打をかわきりに、一死二塁から5番齋田の2点左中間適時二塁打を含む4安打で3点を挙げた。2回表には、3安打で1点を追加し、続く3回にも5番齋田の本塁打と一死二三塁から1番西巻の左前2点適時打、三番譜久村の内野ゴロの間に得点し、4点を挙げ試合を決めた。柴田は、6回一死一三塁の好機をつくったが、活かせず、育英投手陣の前に散発3安打と打線が振るわず悔しい敗戦となった。育英は7大会連続31回目の東北大会出場を決めた。

決勝戦		石巻市民球場		2 時間 10 分				打安点盗犠四三残失併	
東北	0 0 0	0 0 0	0 0 1	1	2	2	2	【北】	32 5 2 0 2 1 5 3 2 2
東陵	0 0 0	0 0 1	0 0 0	2	3	3	3	【陵】	33 7 3 1 2 6 3 9 0 1
(球) 小松 (一) 平岡 (二) 安部 (三) 鎌田				( 延長10回 )				▽本塁打 なし	
【北】	北條・熊谷	—	布施					▽三塁打 小畑(陵)	
【陵】	八鍬	—	菅原					▽二塁打 笹沼(北) 伊藤(陵)	
▽暴投 なし		▽捕逸 なし							

【 東 北 】				【 東 陵 】			
打	安	点		打	安	点	
(遊)	杉澤	龍	4 0 0	(遊)	千葉	康史	3 0 0
(中)	笹沼	匠	4 1 1	(右)	吉野	精隼	4 1 0
(右)	渡辺	法聖	4 0 0	(二)	小畑	拓斗	3 1 1
(一)	植木	利久	4 1 0	(捕)	菅原	幸治	3 0 0
走	三浦	翔	0 0 0	(中)	伊藤	大晟	5 2 2
一	相澤	健太	0 0 0	(一)	津田	雄大	3 1 0
(三)	熊谷	航	2 1 0	(三)	阿部	匠	4 0 0
(左)	千葉	隆誠	3 0 0	(左)	早坂	由士	3 0 0
左	松本	大雅	1 0 0	打	石角	周也	1 0 0
(捕)	布施	東壱	4 1 1	左	佐々木	頼偉	0 0 0
(投)	北條	廉	2 0 0	(投)	八鍬	晃貴	4 2 0
三	児玉	修哉	0 0 0				
打	小田島	拓海	1 1 0				
走	田中	隆太	0 0 0				
三	佐藤	翔大	1 0 0				
(二)	伊勢	隼	2 0 0				
計			20 4 1	計			23 5 2

## 【評】

決勝戦は、両チーム先発八鍬と北條が5回まで三塁を踏ませぬがっぷり四つの投手戦だった。試合は、一転、8回裏から1点をめぐって激しくぶつかり合った。8回裏1点リードの東陵の攻撃は、一死二三塁から四球で満塁と攻めたてたが、東北は二番手熊谷が4番菅原を遊ゴロ併殺に打ち取り切り抜けた。1点差を追う東北は9回表代打小田島が左前打で出塁、二死二塁から2番笹沼がレフト左に同点となる二塁打を放ち、なお勝ち越す好機を作ったが、東陵先発八鍬は3番渡邊を投飛に打ち取り踏んばった。勝利がどちらに転ぶか息をのむ9回表だった。東北は、9回裏二死三塁のピンチを防ぎ、10回表先頭の4番植木がヒット、二死三塁から布施が左前打を放ち代走三浦がホームイン、初めてリードを奪った。10回裏東陵は、一死後四球と安打で同点と逆転の走者を出した。二死一三塁から死球で満塁、5番伊藤が初球を中越えに殊勲の二塁打を打ち、一打逆転、3対2、歓喜のサヨナラ勝ちをした。